

令和 5 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

事業報告（重点目標）の評価について

達成度（状況）	達成率	評価説明
達成できた	90～100%	取り組み内容や達成に至った経緯、成果を記載
概ね達成できた	70～89%	取り組み内容と達成に至らなかった課題等を記載
達成できなかった	0～69%	取り組み内容と達成に至らなかった理由を記載 （外的要因含む）

令和５年度 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団 事業報告

はじめに

平素より当事業団の運営につきましては、利用者の皆さまや保護者の皆さまをはじめ、関係各所の皆さま方には格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

令和５年度は、茅ヶ崎市社会福祉事業団の主な事業である指定管理施設の指定期間満了の年度であり、次期指定管理期間の申請を行う重要な年度でありました。

現指定管理期間（令和２年度から５年度までの４年間）においては、利用料金制度が導入され、特にふれあい活動ホームについては、茅ヶ崎市からの指定管理料を受けることなく、事業運営を行うこととなったことは当事業団にとって大きな変化でありました。これまで以上に職員の心理的不安は大きかったものと思われませんが、法人が自立できるという確証を得るため、「事業所の強みを再確認する」、「利用者が活動しやすい環境づくり」、「職員が働きやすい職場づくり」、「安定した経営」を目標の主軸に置き、法人全体の底上げを行ってきました。

将来に亘り継続的な法人運営が行えるよう、組織のガバナンス強化や事業の透明性を向上させるとともに、施設長会議等において第３期中期経営改善計画の進捗管理や令和６年～１０年度経営計画の策定、職員人事評価制度の確立など、職員の人材育成や組織力の強化も図ってきました。

また、茅ヶ崎市の外郭団体として設立されてから３０年以上が経過し、外郭団体として存続させる意味をより一層求められていますが、所管課との連携のもと、施設の管理運営を適切に行うとともに、様々な取り組みを通し、適正な福祉サービスの提供と収益を得ることができる法人として歩んでいることも評価されています。

利用児者を取り巻く環境は日々変化しており、利用者ニーズの複雑化や多様化への対応に向き合い、今後も当事業団の福祉サービスを利用される皆さまの「安全・安心」を第一に、利用者や地域が望み、求められていく施設づくりを実施するため、「利用者満足度の向上」を図りつつ、「人財」による職員対応力の強化と事業継続性を担保することとし、「虐待を発生させない体制づくり」への強化に取り組んでいく所存でございます。

令和６年４月

理事長 高 橋 里 幸

本部事務局事業報告

1 事業の概要

(1) 経営理念

私たちは、きわめて公益性の高い社会福祉法人として、誰もが人として尊ばれ、愛する地域で自分らしく生活できる社会づくりに貢献します。

(2) 経営方針

ア 一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

イ 信頼される社会福祉法人として、茅ヶ崎市との連携を下に地域課題の解決に取り組めます。

ウ より質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質を向上させ、組織体制を強化します。

エ 事業の継続的な改善・見直しを実施し、活力ある法人経営と効率的な事業経営により、経営基盤を強化します。

オ 関係法令や社会規範の理解・遵守を徹底するとともに、個人情報保護と透明性の高い法人経営を推進し、利用者・地域社会の信頼に応えます。

2 管理・運営

(1) 理事会の開催状況

ア 令和5年度第1回(6月通常)理事会

(ア) 日時 令和5年6月1日(木) 午後3時55分から午後5時10分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 評議員選任・解任委員会の報告について

報告第2号 理事長専決処分の報告について

報告第3号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度会計決算について

議案第3号 令和5年度第一次補正予算について

議案第4号 理事候補者について

議案第5号 監事候補者について

議案第6号 令和5年度第1回定時評議員会の招集について

以上報告3件、議案6件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和5年度第2回(臨時)理事会

(ア) 日時 令和5年6月16日(金) 午後5時25分から午後5時45分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

議案第1号 理事長及び副理事長の選定について

議案第2号 評議員選任・解任委員会委員の選任について

議案第3号 社会福祉充実計画について

以上議案3件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和5年度第3回(臨時)理事会

(ア) 日時 令和5年10月11日(水) 午後4時00分から午後5時20分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 2 階

(ウ) 審議案

報告第 1 号 指導監査及び実地指導の結果について

報告第 2 号 理事長専決処分の報告について

議案第 1 号 次期中期経営改善計画の考え方（案）について

以上報告 2 件、議案 1 件は審議の結果、異議なく承認された。

エ 令和 5 年度第 4 回（臨時）理事会

(ア) 日時 令和 5 年 1 1 月 1 5 日（水） 午後 4 時 0 0 分から午後 5 時 2 0 分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 2 階

(ウ) 審議案

報告第 1 号 理事長専決処分の報告について

報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第 1 号 令和 5 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について

議案第 2 号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団規程について

議案第 3 号 指定管理施設の次期選定について

議案第 4 号（仮称）令和 6 ～ 1 0 年度経営計画（素案）について

議案第 5 号 令和 5 年度第 2 回（臨時）評議員会の開催について

以上報告 2 件、議案 5 件は審議の結果、異議なく承認された。

オ 令和 5 年度第 5 回（3 月通常）理事会

(ア) 日時 令和 6 年 3 月 1 8 日（月） 午後 4 時 0 0 分から午後 5 時 4 0 分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 2 階

(ウ) 審議案

報告第 1 号 理事長専決処分の報告について

報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

報告第 3 号 社会福祉充実計画について

議案第 1 号 令和 5 年度第三次補正予算について

議案第 2 号 令和 6 ～ 1 0 年度経営計画（素案）について

議案第 3 号 令和 6 年度事業計画について

議案第 4 号 令和 6 年度予算について

議案第 5 号 規程について

議案第 6 号 施設長の退任及び選任について

議案第 7 号 理事候補者について

議案第 8 号 令和 5 年度第 3 回（3 月）評議員会の招集について

以上報告 3 件、議案 8 件は審議の結果、異議なく承認された。

なお、議案第 3 号及び議案第 4 号は、定款第 35 条第 1 項の定めによる、理事総数の 3 分の 2 以上の同意が得られた。

(2) 評議員会の開催状況

ア 令和 5 年度第 1 回（定時）評議員会

(ア) 日時 令和 5 年 6 月 1 6 日（金） 午後 4 時 0 0 分から午後 5 時 1 5 分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 1 階

(ウ) 審議案

報告第 1 号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第 2 号 令和 4 年度事業報告について
 議案第 1 号 令和 4 年度会計決算について
 議案第 2 号 社会福祉充実計画について
 議案第 3 号 令和 5 年度第一次補正予算について
 議案第 4 号 理事の選任について
 議案第 5 号 監事の選任について

以上報告 2 件、議案 5 件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和 5 年度第 2 回評議員会

(ア) 日時 令和 5 年 1 1 月 2 9 日 (木) 午後 4 時 0 0 分から午後 4 時 4 0 分まで
 (イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 1 階
 (ウ) 審議案

議案第 1 号 令和 5 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について
 報告第 1 号 (仮称)令和 6 ～ 1 0 年度経営計画 (素案) について
 以上報告 1 件、議案 1 件は審議の結果、意義なく承認された。

ウ 令和 5 年度第 3 回 (3 月通常) 評議員会

(ア) 日時 令和 6 年 3 月 2 7 日 (水) 午後 3 時 5 5 分から午後 5 時 0 5 分まで
 (イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑 1 階
 (ウ) 審議案

報告第 1 号 社会福祉充実計画について
 議案第 1 号 令和 5 年度第三次補正予算について
 議案第 2 号 令和 6 ～ 1 0 年度経営計画 (素案) について
 議案第 3 号 令和 6 年度事業計画について
 議案第 4 号 令和 6 年度予算について
 議案第 5 号 理事の選任について

以上報告 1 件、議案 5 件は審議の結果、異議なく承認された。

(3) 事業種別

ア 指定管理者事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定管理期間
つつじ学園	児童発達支援センター (30) 児童発達支援 (10) 保育所等訪問支援	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 6 年 3 月 31 日
ふれあい活動ホーム赤羽根	就労移行支援 (6) 就労継続支援 B 型 (23→ <u>30</u>) <u>* 令和 6 年 1 月 1 日より定員</u> <u>30 名へ変更</u>	
ふれあい活動ホームあかしあ	生活介護 (20)	
ふれあい活動ホーム第 2 あかしあ	就労継続支援 B 型 (25)	
かめっこくらぶ (東海岸・松が丘)	障害児日中一時支援 (10・10)	

イ 自主事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	事業指定日 (初回)
あっとほーむ小和田 (松が丘) (高田)	共同生活援助 (5・サライト 1+1) (5・サライト 1+1) →(5・サライト 1) (6) <u>*令和 6 年 3 月 1 日より松が丘サライトを 1 か所減</u>	平成 24 年 7 月 1 日指定 *松が丘 平成 26 年 1 月 5 日開所 *高田 令和 2 年 2 月 1 日開所
相談支援センターつみき	障害児相談支援 特定相談支援	平成 24 年 10 月 1 日指定
ぐっじょぶ矢畑	就労継続支援 B 型 (20)	平成 29 年 4 月 1 日指定

ウ 委託事業

名 称	事 業 種 別	事業指定日 (初回)
相談支援センターつみき	茅ヶ崎市相談事業	平成 24 年 10 月 1 日指定

(4) 茅ヶ崎市との協定書等について

締結日	名称
令和 5 年 4 月 1 日	茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する年度協定書
令和 5 年 4 月 1 日	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する年度協定書
令和 5 年 4 月 1 日	業務委託契約書 (相談支援センターつみき)
令和 6 年 3 月 22 日	業務委託変更契約書 (相談支援センターつみき)

(5) 指定管理施設の指定手続き

月日	内容
令和 5 年 11 月 28 日	指定管理施設指定申請書提出
令和 6 年 1 月 10 日	指定管理者選定等委員会にてプレゼンテーション
令和 6 年 3 月 22 日	指定管理者指定通知 (指定管理期間：令和 6 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで)

(6) その他の法人業務

月日	内容
令和 5 年 8 月 24・25 日	源泉徴収事務実地調査

(7) 職員配置

令和6年3月配置数

		員数計	職種	正規職員 員数	非正規職員 員数	常勤換算	
法人本部事務局		2		1	1		
	本部事務局		副理事長(業務執行理事)		1	0.77	
			事務局長		(1)		
			副事務局長	1			
			事務員	(1)			
児童							
	つつじ学園	45		13	32		
	児童発達支援センター		管理者	1			
			児童発達支援管理責任者	1			
			保育士・児童指導員又は 障害福祉サービス経験者	6	11	9.57	
			運転員		3	1.39	
			指導員(添乗業務含む)		1	0.45	
	保育所等訪問支援		管理者	(1)			
			児童発達支援管理責任者	(1)			
			訪問支援員	(1)			
	児童発達支援		管理者	(1)			
			副施設長(児童発達支援管理責任者)	1			
			保育士・児童指導員又は 障害福祉サービス経験者	3	2	2.00	
	共通		管理栄養士	1			
			調理員		3	1.29	
			事務員	(1)	1	0.46	
			看護師		3	1.06	
			嘱託医(小児科)		1	0.01	
			嘱託医(精神科)		1	0.01	
			理学療法士		1	0.39	
			言語聴覚士		2	0.35	
			公認心理師		2	0.58	
			作業療法士		1	0.31	
	かめっこくらぶ	9		1	8		
	日中一時支援		管理者	1			
			保育士・児童指導員・指導員		8(1)	3.18	
			運転員		1	0.45	
	就労・生活						
		ふれあい活動ホーム赤羽根	10		3	7	
		就労移行支援 就労継続支援B型		管理者	1		
				施設長	(1)		
				サービス管理責任者	(1)		
				施設長補佐(就労支援員)	1		
生活支援員				1			
職業指導員					7	5.10	
ふれあい活動ホームあかしあ		12		2	10		
生活介護			管理者	1			
			施設長	(1)			
			サービス管理責任者	(1)			
			生活支援員	1	9	3.83	
			嘱託医		1	0.01	
			看護師		(1)		
ふれあい活動ホーム第2あかしあ		7		2	5		
就労継続支援B型			管理者	1			
			施設長	(1)			
			サービス管理責任者	(1)			
			職業指導員	1	5	3.55	
ぐっじょぶ矢畑		5		2	3		
就労継続支援B型			管理者	(1)			
			施設長	(1)			
			サービス管理責任者	1			
			職業指導員	1	3	1.77	
あっとほーむ小和田		17		1	16		
松が丘・高田・サテライト1・2 共同生活援助			管理者	(1)			
			施設長	(1)			
			サービス管理責任者	(1)			
			生活支援員	1	1	0.39	
			世話人		17(2)	4.06	
相談							
		相談支援センターつみき	3		1	2	
	障害児・特定相談支援 一般相談支援		管理者	1			
			相談支援員	(1)	2	1.32	
計	110		26	84			

() は他職種または他事業所との兼務
 なお、休職者等の代替職員を除く

(8) 研修、会議等

外部研修	主催	日数	延人数	備考
中期労働講座 「知っておきたい労働法の基礎知識」	神奈川県労働局	-	2	10/2～11/30 オンデマンド配信
障害福祉分野におけるICT導入モデル事業に係る研修会	神奈川県	1	1	オンライン
経理担当者向け勉強会	辻本郷税理士法人	1	1	
新人指導力強化研修	(福)神奈川県社会福祉協議会	1	1	
社会福祉法人における指導監査例とDX も見据えた会計専門家活用例	日本公認会計士協会神奈川県会	1	1	オンライン
コンプライアンス研修	(福) 福利厚生センター	1	1	オンライン
法人決算×就労会計 これって原価に いていいの!?就労会計のギモン徹底解説	LITALICO	1	1	オンデマンド配信
雇用契約書と就業規則を極めよう	LITALICO	1	1	オンデマンド配信
社会福祉法人におけるDX対応～キャッシュレ	TKC	1	1	
会計実務研修会（前期）	東京都社会福祉協議会	1	1	8/18～10/31 オンデマンド配信
救命救急講習	茅ヶ崎市消防指導課	1	1	
苦情解決研修会（基礎編）	かながわ福祉サービス運営適正化 委員会	1	1	オンライン
会計セミナー 目からウロコの会計と決算書の見方	公益法人協会	1	1	
エネルギーコスト増と社会福祉法人	福祉経営研究機構	1	1	オンデマンド配信
社会福祉法人の今後20年	福祉経営研究機構	1	1	オンデマンド配信
2024年報酬改定を踏まえて考えるこれ からの法人経営	福祉経営研究機構	1	1	オンデマンド配信
社会福祉法人の経営力強化 ～財務会計と労務管理～	福祉経営研究機構	1	1	オンデマンド配信
会計担当者研修	(福)神奈川県社会福祉協議会	1	1	オンライン
情報セキュリティ講習会	(福) 福利厚生センター	-	1	e-ラーニング
社会福祉法人のリスクマネジメント	損害保険ジャパン株式会社	1	1	
BCP作成研修	神奈川県	1	1	オンライン
計		19	22	

* 事務局職員の内部研修はぐっじょぶ矢畑にて実施

外部会議等	主催	日数	延人数	備考
県内事業団総務担当課長会議	横須賀市社会福祉事業団	1	1	オンライン
茅ヶ崎市行政改革推進委員会	茅ヶ崎市	1	3	
茅ヶ崎市障がい福祉課との打ち合わせ	－	3	9	
茅ヶ崎市産業観光課との打ち合わせ	－	1	1	
茅ヶ崎市福祉政策課との打ち合わせ	－	1	2	
指定管理施設モニタリング	茅ヶ崎市	4	-	
仕事体験プログラム説明会	神奈川県	1	1	オンライン
地域就職相談会	かながわ福祉人材センター	1	1	
計		13	18	

このほか、静岡市しみず社会福祉事業団からの依頼により視察を受け入れた。

内部会議		回数	内容
経営会議（兼計画推進委員会）		2	事業団における管理運営に関する重要事項の審議、中期経営改善計画に掲げた事項の検討と調整。 主な議題：今後の指定管理施設の運営、人材育成、人事配置計画、人事評価制度、次期経営計画、処遇改善についてなど
施設長会議	（全体会）	3	事業運営における調整、人材育成、新たな取り組みや行事等の協議と共有化。
	（成人分科会）	4	主な議題：収支状況の確認、中期経営改善計画と重点目標の進捗確認、次期経営計画、
	（児童分科会）	2	BCP策定、報酬改定についてなど
広報委員会		適時	本部事務局の所掌事務として、法人の広報活動全般において、ホームページや掲示板などを活用し事業所の運営情報等を発信するほか、法人経営の透明化を図る。
防災委員会		1	つつじ学園防災グループが中心となり、福祉避難所の備蓄品検討並びに福祉避難所設置訓練を実施した。
衛生委員会		4	職場における職員の健康確保と快適な職場環境の形成を促進するため、産業医とともに安全衛生に関する調査審議を行う。 組織健康調査の実施、管理職のグループワーク、事業所の職場巡回、腰痛や喫煙課題への取り組み
虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会		4	虐待防止及び身体拘束廃止の要綱や指針の見直しを行った。要綱等に沿った身体拘束廃止に向けた取り組みを行った。 虐待防止や身体拘束廃止の啓発、職員研修の実施方法等を検討するとともに全職員への共有を行うよう各施設長と確認した。
成人事業検討委員会		6	既存事業の課題を解決しつつ、法人の安定した経営を維持しながら利用者や地域ニーズに伝えていくには何が必要かを検討した。 成人事業の個別支援計画書式の統一、サービス費報酬加算や事業の理解、作業確保や将来の事業展開の検討など。
計		26	

* その他、人事評価制度の導入に向けて、職員向けの説明会を行った。

(9) 職員の職場環境

ア 健康管理

短時間勤務者を含め定期健康診断を実施し、職務免除にて対応した。

インフルエンザ予防接種料について、申請者に対し助成を行った。(30名/59,200円)

イ 資格取得支援

申請者なし

(10) 人事・労務関係

実施日	業務内容
4月1日	辞令交付 人事配置(異動3名) 契約職員発令(継続3名、新規1名) 常勤嘱託職員発令(継続4名)
4月1日	部分休業(新規1名・継続2名)
6月19日	育児休業承認(1名) /令和6年5月13日までの予定
8月10日	退職勧奨
8月28日	職員採用試験の実施
10月11日	職員採用試験の実施
12月4日	職員採用試験実施方法変更
12月12日	職員採用試験一次結果
12月22日	職員採用試験二次結果
1月17日	人事異動(内示)
1月22日	正規職員登用試験実施
2月28日	正規職員登用試験結果
3月6日	職員採用試験結果
3月26日	常勤嘱託員採用決定(1名)
3月28日	人事配置について
3月29日	職員退職承認発令(3名)

なお、育児休業の取得対象者には事前面談において意向確認を行った。

(11) 車両の運行状況

(クリッパー)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	138	86	126	60	104	64	37	153	163	104	75	84	1,194	99.5
運行日数 (日)	12	9	12	4	9	8	5	9	12	8	8	7	103	8.6
平均走行 距離(km/日)	11.5	9.6	10.5	15.0	11.6	8.0	7.4	17.0	13.6	13.0	9.4	12.0		11.6

3 令和5年度の重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	次期指定管理期間へ移行するため、令和5年10月までに指定管理者の申請を行い、事業者選定を獲得する。	達成できた 指定管理者申請要項に基づき作成する申請書類は、図や表、写真等を効果的に用い提出期限までに簡潔にまとめることができた。 1月の指定管理者選定委員会においては、より事業への理解を深めていただけるよう、パワーポイントを活用したプレゼンテーションに初めて臨み、一定の評価を得るとともに次期指定管理者に選定された。
(2)	中期的な経営方針を明確にした、第4期中期経営改善計画（令和6年度から令和10年度）を令和6年3月までに策定する。	達成できた 第3期中期経営改善計画の評価と振り返りを行ったうえで、これからの5年間で目指すべき法人の姿を体現するための「令和6～10年度経営計画」を年度内に策定することができた。

つつじ学園事業報告
(児童発達支援センター・児童発達支援・保育所等訪問支援)

1 基本方針

児童福祉法の理念に基づき、子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的な生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。

(1) 児童発達支援センター(単独通園、週5日)

保護者から離れて療育を積み重ねていく中で、今までにない人間関係が芽生え、様々な活動を経験することで、社会参加に向かう力を養う。また、保護者は子どもと離れ、客観的に子どもを見つめる時間を過ごし、自身の生活を考え、もう一度子どもとの関わりを捉え直す機会を持つ。

肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れる体制を整え、子どもの特性に合った環境で支援を行う。

(2) 児童発達支援事業(親子通園、週2～3日)

心身の発達に遅れやつまずきがある子どもたちが、保護者と共に友達や職員といろいろな遊びや活動に取り組み、経験を積み重ねていく。また、身の回りのことを自分でできるように支援する。保護者は、子どもと一緒に療育に参加し、支援の在り方について職員と考える。また、保護者同士で交流を深めながら、共に考え、助け合う場となるよう保護者を支援する。

(3) 保育所等訪問支援事業

保育園等に在籍している学園児、退園児を対象に、公認心理師、訪問支援員が保育所等を訪問し集団生活の適応支援を行う。また、子どもへの直接支援や発達の様子を踏まえた関わり方や提示方法について、訪問先保育所等のスタッフに対する支援方法等のアドバイスとともに、ご家族に訪問先での様子の報告等を行う。

2 令和5年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	療育を必要としている児や保護者への支援拡大のため、適正なクラス編成を行うとともに、働きやすい職場の環境を整えながら人材を確保する。	達成できた フルタイム勤務の職員定数を確保できたため、年度当初から児の特性や保護者の状況等を考慮した適正なクラス編成を維持することができた。また、途中入園も視野に入れた運営を行ってきたが、保護者のニーズに寄り添い、センターと事業でそれぞれ1名ずつ途中入園児を受け入れることができた。 今年度も職員全員と個人面接を実施し、日頃の思い、意見、要望等を聞き取ることができた。なお、年度末での退職者が1名出たが、非常勤職員の正規職員登用制度により定数を確保するとともに、次年度に繋ぐ安定した運営体制を整備することができた。

(2)	支援に関わる職員の多角的な視点を共有できる連携の在り方等を検討し、体系化する。	概ね達成できた 今年度から試行的に実施した人事評価制度の面接の機会を活用し、児発管2名が各々のクラス担当者にクラス内の様子や協力体制、運営の仕方、日頃の思い等を聞き取り、適宜、助言、指導等を行った。その他、毎月実施している各部門内の会議において、適宜、情報共有等を行い円滑な運営に努めた。
(3)	高い専門性と資質向上のため、職員の知識や経験年数に応じて外部、内部研修に参加する。	達成できた 内部研修については、専門職による心理研修（2回）、ST研修、PT研修、OT研修（各1回）、職員同士の内部研修を8回、外部講師による研修を1回それぞれ行い、専門的な視点、多角的な視点、共通認識等を養うことができた。特に今年度は虐待防止と身体拘束等の適正化について再確認し課題等の整理を行った。 外部研修については、定例的な研修に参加したほか、研修の案内をその都度確認し、日々の職員体制を確保しながら、積極的な参加に努めた。 また、送迎車の安全確保対策を含めた、安全計画を作成し、つつじ学園の安全安心な事業所運営を推進した。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																	前年度				
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数	
つつじ学園	センター	実在籍(契約)数	31	31	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	229		229	230		230	
		開所日数	17	20	22	20	17	19	21	20	19	18	19	17	229		229	230		230	
		延在籍数	515	616	686	627	544	605	662	636	599	569	602	505	7,166			6,851			
		延利用数	430	528	540	483	458	526	565	529	485	514	530	445	6,033		6,033	5,516		5,516	
		分析	一日平均	25.3	26.4	24.5	24.2	26.9	27.7	26.9	26.5	25.5	28.6	27.9	26.2	26.3			24.0		
			出席率	83.5%	85.7%	78.7%	77.0%	84.2%	86.9%	85.3%	83.2%	81.0%	90.3%	88.0%	88.1%	84.2%			80.5%		
	訪問	実在籍(契約)数	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	9							
		延利用数	0	2	2	0	3	1	2	1	1	2	1	1	16		16	22		22	
	事業	実在籍(契約)数	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25							
		開所日数	17	20	22	20	17	19	21	20	19	18	19	16	228		228	232		232	
		延在籍数	195	240	264	250	208	228	258	259	238	224	233	208	2,805			2,811			
		延利用数	123	157	153	157	141	142	170	177	162	161	172	167	1,882		1,882	2,122		2,122	
		分析	一日平均	7.2	7.9	7.0	7.9	8.3	7.5	8.1	8.9	8.5	8.9	9.1	10.4	8.3			9.1		
			出席率	63.1%	65.4%	58.0%	62.8%	67.8%	62.3%	65.9%	68.3%	68.1%	71.9%	73.8%	80.3%	67.1%			75.5%		

* 感染症等による出席停止数（上記外）は、センター82件、事業29件であった。

ア 児童発達支援センター

発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、週5日の単独通園を通じて、保護者から離れて身近な面や社会性、コミュニケーションの発達を促すことを目的に継続的な取り組みを行った。行動の

ントロールが難しい子や未歩行または姿勢運動に介助が必要な子どもについては、個別に職員が対応し、子どもの様子や発達段階に合わせた支援を行った。子どもの様子や関わり方については、日々の連絡や面談を通して保護者と共有し、専門指導を必要とする子どもを対象に、ニーズに合わせて専門職種の活用を積極的に実施した。

また、新型コロナが5月8日から5類へ変更となり、これまで自粛していた活動を徐々に再開し、4年ぶりにプール遊びや泥遊びを実施した。なお、職員間では引き続きマスクの着用を行い、感染の防止に努めた。

イ 児童発達支援事業

親子通園を通して、発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、早期から週2日～3日の療育を積み重ねるように実施することで、保護者支援、子どもの生活リズムの確立、日常の生活動作の向上、情緒面の安定を図った。また、各クラスのカリキュラムに、理学療法士、作業療法士、公認心理師、言語聴覚士が参加し、子どもへの直接支援や療育スタッフへの後方支援等を取り入れた。

ウ 保育所等訪問支援

つつじ学園在園児と退園児の未就学児を対象に、保育所等における集団適応支援、後方支援、情報の共有を目的に実施した。訪問後は、方針会議を開き、大きな集団での「過ごし」について、保育所等、保護者、保育所等訪問支援員、公認心理師、担当職員間で課題を共有し連携を図った。結果として、子どもの特性理解が深まり、特性に合った支援や関わりが子どもに提供され集団生活への適応につながった。

(2) 年齢・性別

	児童発達支援センター			児童発達支援事業			合計
	男	女	計	男	女	計	
2歳児	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	1	0	1	16	3	19	20
4歳児	11	2	13	4	2	6	19
5歳児	13	5	18	0	0	0	18
計	25	7	32	20	5	25	57

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
センター	0	0	0	0	0	0	0	0	5	8	4	17
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	4	11
計	0	0	0	0	0	0	0	0	8	12	8	28

	重複							小計	未交付	合計
	身1級 A1	身1級 A2	身1級 B2	身2級 A1	身2級 A2	身3級 A2	身3級 B2			
センター	1	0	0	0	0	0	0	1	14	32
事業	2	0	0	0	0	0	0	2	12	25
計	3	0	0	0	0	0	0	3	26	57

* 未交付の中には療育手帳を取得したくても、発達数値が該当しないケースあり。

(4) 診断名

	ダウン症 等症候群	自閉症 スペクト ラム	その他	診断名 なし	計
センター	2	9	7	14	32
事業	2	6	4	13	25
計	4	15	11	27	57

(5) 入園経路

	こども センター	総合療 育相談 センター	幼稚園 保育園	他施設	学园内 発達支 援事業	転居	行政 (保健所 等)	児相	家庭	相談事 業所	計
センター	3	0	0	0	18	0	0	0	0	0	21
事業	17	3	0	0		0	0	0	0	0	20
計	20	3	0	0	18	0	0	0	0	0	41

(6) 退園経路

	学校				幼稚園 保育園	他施設	学园内 発達支 援センター	転居	家庭	計
	支援 学校	支援 学級	通常 学級	小計						
センター	8	9	1	18	0	0		0	0	18
事業	0	0	0	0	0	1	19	0	0	20
計	8	9	1	18	0	1	19	0	0	38

4 支援内容

(1) 日課表

時刻	児童発達支援センター	時刻	児童発達支援事業
8 : 3 0	全職員打ち合わせ	8 : 3 0	全職員打ち合わせ
	日課打ち合わせ		日課打ち合わせ
8 : 4 0	通園バス出発	8 : 5 0	活動準備・記録
9 : 0 0	活動準備・記録	9 : 3 0	個別指導
9 : 3 0	個別指導	1 0 : 0 0	登園
1 0 : 0 0	通園バス到着、登園		支度・自由遊び
	支度・自由遊び・排泄	1 0 : 2 0	リズム
1 0 : 3 5	集まり・水分補給	1 0 : 3 0	集まり
1 0 : 4 5	部屋別活動、全体活動		リラックス体操
1 1 : 4 5	給食	1 1 : 1 0	機能回復訓練等
	着脱・自由遊び	1 1 : 2 0	課題遊び
1 3 : 0 0	課題活動	1 1 : 4 5	給食
	リラックスタイム	1 2 : 3 0	排泄・自由遊び
1 3 : 4 5	集まり・降園準備	1 2 : 5 0	集まり・降園準備
1 4 : 0 0	通園バス出発、降園	1 3 : 0 0	降園（親子グループ）
	清掃		個別指導
1 5 : 3 0	通園バス到着		面談
	記録等		清掃
1 6 : 2 0	担当打ち合わせ	1 5 : 0 0	担当打ち合わせ
1 7 : 1 5	職員退勤		記録等
		1 7 : 1 5	職員退勤

(2) 専門職による指導訓練

区分	日数	延人数
公認心理師	180	207
言語聴覚士(ST)	110	102
作業療法士	95	93
理学療法士	145	201
計	530	603

個別指導だけではなく、集団活動の様子を観察していただく時間を設定することで、集団での課題等を共有していくことができた。

子どもの指導だけではなく、保護者支援が必要なケースは専門職員と面談する時間を多く取り入れ、フォローを行った。

指導職員の知識等向上のため、専門職員による研修を実施した。

(3) 嘱託医師による検診

区分	日数	集団検診延人数			個別検診延人数		
		センター	事業	計	センター	事業	計
精神科	21			0	33	16	49
小児科	22	65	23	88	0	1	1

精神科の個別健診において、事業は新入園児を対象とし、小児科の個別検診はセンターと事業ともに新入園児を対象に実施した。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
安全運転管理者法定講習	一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会	1	1	
神奈川県指定障害福祉サービス事業所等に対する指導講習会	神奈川県障害サービス課	1	1	
令和5年度特定給食施設全体講習会	茅ヶ崎市保健所	4	1	オンライン研修
食生活支援担当者研修会	茅ヶ崎市保健所	1	2	
保健衛生研修	茅ヶ崎市保健所	1	1	
新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会	神奈川県社会福祉協議会	2	1	内1日はオンライン研修

接遇講習会	社会福祉法人 福利厚生センター	1	1	オンライン研修
カスタマーハラスメント研修	社会福祉法人 福利厚生センター	1	1	オンライン研修
心身障害児保育研究会	神奈川県内心身障害児保育研究会	2	2	
神奈川県サービス管理責任者・児童 発達支援管理責任者 補足研修	NPO法人かながわ障がいケアマ ネジメント従事者ネットワーク	1	1	オンライン 研修(11h)
安全運転研修 (ベテランドライバー向け)	神奈川県安全運転研修センター	1	2	
業務継続計画（BCP）策定研修	公益社団法人かながわ福祉サー ビス振興会	1	1	オンライン研修
施設連絡会研修会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	25	
計		18	40	

内部研修	日数	延人数
自己点検シート振り返り（9月・3月）	2	52
チームビルディング研修	1	25
防犯研修（バス乗車時の防犯について）	1	27
防犯研修（園庭にて送迎バスを使用した訓練）	2	43
事業ケース検討会	1	20
心理研修（発達検査について）	1	24
心理研修（グループワークと行動療法）	1	27
ST研修（ことばのない子のコミュニケーション）	1	20
PT研修（PTを受けている子どもとどのよ うな狙いを持って関わるとよいか）	1	24
OT研修（手先の巧緻動作と食具操作について）	1	26
精神科嘱託医による研修（事例検討）	1	24
精神科嘱託医による研修（二次障害について）	1	23
どんぐりさんによる手作りおもちゃ講座	1	24
看護師による研修（医療的行為他）	1	25
職員の共通理解について	1	25
パワーハラスメント研修	1	25
やまゆり園DVD研修	2	26
虐待防止研修(You Tube視聴による研修)	1	27
計	21	487

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
特別支援教育担当者会兼教育センター青少年教育相談事業等説明会	学校教育指導課	1	1
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市施設連絡会	2	2
県内公立障害者通園施設連絡協議会	県内公立障害児通園施設連絡協議会	2	2
福祉避難所打合せ	茅ヶ崎市障がい福祉課	2	2
地域ケア会議	浜須賀地区地域包括支援センターあさひ	1	2
計		8	9

内部会議	日数	延人数
職員会議	13	335

6 その他

(1) 給食

区分	提供数		栄養相談
	年間	1日あたり	延人数
センター	5,081	22.1	1
事業	1,541	6.9	3
計	6,622	29.0	4

	目標	提供	推定摂取
熱量 (kcal)	420	461	417
蛋白質 (g)	17	21.1	19

5月にそらまめのさやむき体験。7月にとうもろこしの皮むき体験を実施した。むいたそらまめやとうもろこしは茹でてその日の給食の時間に提供した。そらまめ体験では肢体不自由児クラスでまだ給食を開始していない児が多くいたため、活動時間中に間に合うよう給食室で調理し、児に合わせミキサーにかけたものを提供し多くの児童に旬の味覚を味わってもらった。

また、秋にはさつま芋ほり体験をした。収穫したさつま芋は給食にて提供するとともに、家庭に持ち帰っていただき、家族で楽しんでいただいた。季節ごとに行事食を取り入れ、3月はちらし寿司を提供したが、苦手な児童には、白米を別に用意する等の配慮を行った。

(2) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	園児	職員	その他	計	場所	想定
4月19日	38	32	21	91	1階調理室	火災避難訓練
5月10日	36	26	13	75	1階調理室	火災避難訓練
6月13日	29	29	6	64	1階調理室	地震火災避難訓練
7月12日	30	33	9	72	1階調理室	火災避難訓練
8月8日	35	28	9	72	1階調理室	地震火災避難訓練
8月9日	29	26	8	63		地震津波避難訓練
9月13日	36	28	9	73	2階配膳室	地震火災避難訓練
10月5日	24	19	24	67		センター引き渡し訓練
10月10日	38	24	9	71	2階いちご部屋	火災避難訓練
11月8日	36	29	9	74	1階調理室	地震火災避難訓練
12月14日	35	29	9	73	1階調理室	火災避難訓練
12月27日	0	20	5	25		福祉避難所設営訓練
1月24日	37	31	9	77	1階調理室	ガス爆発火災避難訓練
2月20日	16	22	7	45	1階調理室	火災避難訓練
3月13日	24	28	8	60	1階調理室	火災避難訓練

(3) 年間行事

実施日	行事内容
4月3～6日	自宅療育日
4月5日	入園式
5月16～18、 23日	事業部屋別懇談会（ひよこ、ぺんぎんABD）
6月7～9日	事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんB）
6月10日	事業家族参観日（ひよこ、ぺんぎんB）
6月19～23日	センター部屋別懇談会
7月4～7日	事業家族参観週間（ぺんぎんA・D）
7月8日	家族参観日（センター・ぺんぎんA・D）
8月14～18日	自宅療育日
10月16～20日	センター運動会週間
10月18～20日	事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんB）
10月21日	事業家族参観日（ひよこ、ぺんぎんB）
11月11日	学園祭
11月17～24日	センター・事業部屋別懇談会
11月28～30日	事業家族参観週間（ぺんぎんA・D）

12月2日	家族参観日（センター・ペンギんA・D）
12月20～22、 25日	クリスマス会（センター・事業）
12月28日 ～1月3日	自宅療育日及び年末年始休業
1月16～19日	事業部屋別懇談会
2月26日 ～3月1日	センター部屋別懇談会
3月26日	卒園式
3月26～29日	自宅療育日

5月8日から新型コロナが5類に変更となり、プール遊びや泥遊びが再開できたことで、活動の幅が広がり子ども達の笑顔が多く見られた。

運動会については、センターでは今年も運動会週間を設けてクラスごとに実施した。

学園祭も昨年に引き続き、内部のみで3部制の実施とし、今回は昨年度に卒園した家族も招待した。

（４）保護者研修会

研修会等の内容	講師	実施日	参加人数		
			保護者	職員	計
口腔衛生と歯科受診の在り方	松井医師(歯科)	9月15日	17	5	22

（５）事業所評価

児童発達支援ガイドラインに基づき、事業所自己評価及び保護者等からの事業所評価を実施し、それぞれの評価は法人ホームページに公表している。なお、センター（回収率84％：配布32件/回収27件）、事業（回収率75％：配布24件/回収18件）であり、回収できたものの満足度は100％であった。

（６）車両の運行状況

（通園バス：シビリアン）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	616	780	829	775	706	765	795	750	747	731	746	597	8,837	736.4
運行日数 (日)	16	20	22	20	17	19	21	19	19	18	20	15	226	18.8
平均走行 距離(km/日)	38.5	39.0	37.7	38.8	41.5	40.3	37.9	39.5	39.3	40.6	37.3	39.8		39.1

（送迎車：セレナ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	325	377	428	419	363	397	455	375	508	360	362	351	4,720	393.3
運行日数 (日)	17	20	22	20	17	19	21	19	19	18	20	18	230	19.2
平均走行 距離(km/日)	19.1	18.9	19.5	21.0	21.4	20.9	21.7	19.7	26.7	20.0	18.1	19.5		20.5

(送迎車：キャラバン) 送迎ニーズへの対応強化のため、令和5年5月31日より増車

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)		62	1,097	959	852	957	1,059	724	997	907	917	782	9,313	846.6
運行日数 (日)		1	13	20	17	19	21	15	20	18	19	18	181	16.5
平均走行 距離(km/日)		62.0	84.4	48.0	50.1	50.4	50.4	48.3	49.9	50.4	48.3	43.4		51.5

(タント) * 令和5年11月30日付けで茅ヶ崎市へ返却

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	142	70	197	97	62	152	96	122					938	117.3
運行日数 (日)	13	10	16	10	10	13	12	13					97	12.1
平均走行 距離(km/日)	10.9	7.0	12.3	9.7	6.2	11.7	8.0	9.4						9.7

(SAKURA) * タント後継車として購入

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)								10	114	110	127	158	519	103.8
運行日数 (日)								1	11	12	13	14	51	10.2
平均走行 距離(km/日)								10.0	10.4	9.2	9.8	11.3		10.2

(7) 教育実習生の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	3	0	8
延べ日数	0	0	0	22	24	0	0	11	0	0	33	0	90

かめっこくらぶ事業報告（日中一時支援）

1 基本方針

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び茅ヶ崎市障害児通所施設条例の定めるところにより、障害児が学校下校後や学校休業期間中に活動する場を提供し、障害児を日常的に介護している家族の一時的な休息及び障害児を持つ保護者の就労支援を行う。

学校や年齢が異なる仲間との交流を通して、子どもたちの社会性や協調性を養う。一人ひとりの子どもの特性やニーズに対応した療育的配慮を行う。

2 令和5年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	新規契約者数を7名以上確保する。	達成できた 目標達成に向けて定期的に会議を持ち、法人内の連携をより密に行ったことにより、4月からほぼ毎月1名の新規契約者を確保し、年間を通じて9名の新規契約者を確保することができた。
(2)	1日当たりの利用者数を10人以上とする。	達成できなかった 1日当たりの平均利用者数は6.5人（前年度：7.0人）に留まった。 令和6年1月から3月にかけて6名の見学を受け入れ、利用を進めたが、進級や就学を控えた時期であったため、主の活動場所に慣れることを優先させたいという家族の要望もあり、4月以降に順次利用をスタートさせることとなったため、当年度の利用には結びつかなかった。

3 利用者の状況

（1）利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度
かめっこくらぶ	共通	実在籍(契約)数	29	28	28	29	30	30	32	31	31	32	32	32				
		実利用者数	18	19	20	23	21	23	26	22	23	25	25	24	269			313
		開所日数	20	20	22	20	17	19	21	20	20	19	19	20	237		237	238
	東	延利用数	91	84	89	77	58	75	72	79	69	65	74	63	896		896	1,234
		分析 一日平均	4.6	4.2	4.0	3.9	3.4	3.9	3.4	4.0	3.5	3.4	3.9	3.2	3.8			5.2
		延利用数	21	29	30	50	58	49	62	60	61	73	65	76	634		634	430
	松	分析 一日平均	1.1	1.5	1.4	2.5	3.4	2.6	3.0	3.0	3.1	3.8	3.4	3.8	2.7			1.8
		延利用数	112	113	119	127	116	124	134	139	130	138	139	139	1,530	0	1,530	1,664
	計	分析 一日平均	5.7	5.7	5.4	6.4	6.8	6.5	6.4	7.0	6.6	7.2	7.3	7.0	6.5			7.0
		延利用数																

利用者の状況について、実利用者数28名に対し、重度加算者が2名、行動加算者が12名と5割を占めている。また、個別的な支援が必要な利用者は、定期的な利用者全体の約6割になっている。

一日の平均利用人数は昨年度7.0名に対して6.5名と減少が続いている。日中一時支援を利用しなくなった事を理由に解除が7件（前年度1件）、中学進学を理由に解除が4件（前年度9件）、放課後等サービスへの移行を理由に解除が3件（前年度1件）だった。

前年度の新規利用者は 2 名だったため、新規利用者の獲得が大きな課題になっていたが、法人内の連携を強化し情報を共有したことにより 9 名の新規利用につなげることができた。

これまで、日中一時支援は東海岸と松が丘の 2 拠点で行ってきたが、近年、放課後等デイサービスを中心に放課後の過ごしを提供する事業所が増加する一方で、小学生の新規利用の件数が減っている状況にあった。現在のニーズとして、放課後等デイサービス事業の利用対象外である未就学児を中心とした新規利用が見込まれるため、令和 6 年 4 月から拠点をつつじ学園に集約することにより専門性を生かした効率的な運営を目指すこととした。

なお、移転に向けてご家庭へのアンケートや移転説明会（11 月）を実施するとともに、移転に伴う児童の混乱を最小限に抑えるため、つつじ学園の教室を子どもたちに案内するなど、茅ヶ崎市と連携し計画的に準備を進め、令和 6 年 4 月に新たなスタートを切ることができた。

(2) 障害別利用実人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東海岸	知的	11	11	11	12	10	12	13	10	10	11	11	10	132
	肢体	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	小計	13	12	13	14	11	13	14	11	11	12	12	11	147
松が丘	知的	5	7	7	9	10	10	12	11	12	13	13	13	122
	肢体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	7	7	9	10	10	12	11	12	13	13	13	122
合計		18	19	20	23	21	23	26	22	23	25	25	24	269

(3) 年齢・性別

	男	女	計
3歳児(年少)	1	0	1
4歳児(年中)	2	0	2
5歳児(年長)	3	3	6
小学1年生	2	0	2
小学2年生	0	0	0
小学3年生	4	2	6
小学4年生	6	1	7
小学5年生	5	3	8
小学6年生	2	3	5
計	25	12	37

(4) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	9	24

重複			未交付	合計
身1級 A1	身2級 A1	小計		
1	2	3	10	37

4 支援内容

- (1) 安心・安全に利用していただくため、体温、排泄、食事の記録など連絡帳を通じて家庭と一緒に健康管理を行った。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後もこれまで身につけた感染症対策を途絶えさせないため、これまで通り検温の徹底と消毒、手洗い、車両を含めた設備の消毒等を徹底した。
- (2) 長期休暇時には公園遊びや散歩などを積極的に取り入れ、体力作りを実施した。
- (3) 季節の行事に合わせて、描画や製作を行い、楽しさや面白さを通して考える力や達成感を育んだ。
- (4) 活動にあたっては、写真カードやスケジュールを分かりやすく提示し、誰もが見通しをもって能動的に参加しやすくなるよう支援した。
- (5) 送迎車により、学校から事業所までの迎え、自宅までの送りを行った。
- (6) 県立茅ヶ崎支援学校開放事業

延日数	延人数
中止	

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
発達障がい研修 スキルアップ研修	茅ヶ崎市	1	2	
発達障がい研修 スキルアップ研修	茅ヶ崎市	1	1	
自立と社会参加に向けた性教育	茅ヶ崎市寒川町障害児通所支援事業連絡会	1	3	
計		3	6	

内部研修	日数	延人数
虐待につながる可能性のある不適切な支援	1	9
スピーチロックについて	1	9
不適切な支援が起こる背景と改善・予防法	1	9
接遇の意識の向上及び支援スキルの向上	1	9
鍵をあける虐待からの出発	1	8
計	5	44

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
定例会	茅ヶ崎市寒川町障害児通所支援事業連絡会	5	5
ケース会議	小出小学校	3	3
ケース会議	家庭児童相談室	1	1
情報交換会	浜須賀小学校	1	1
計		10	10

内部会議	日数	延人数
職員会議	10	87

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用児	職員	その他	計	場所	想定
4月20日	3	3		6	茅ヶ崎小学校	広域避難所への経路確認
12月19日	4	3		7	茅ヶ崎小学校	広域避難所への経路確認
12月26日	5	3		8	茅ヶ崎小学校	広域避難所への経路確認

(2) 年間行事

実施日	行事内容
4月25日～4月28日	兜製作
6月 7日～6月 9日	梅雨（かたつむり製作）
6月27日～7月 6日	七夕製作
7月27日～8月 2日	暑中見舞い
10月23日～10月27日	ハロウィン製作
12月11日～12月15日	クリスマス製作
12月25日	正月のお飾り政策
1月 4日	凧づくり
1月29日～2月 2日	節分製作
2月19日～2月29日	ひな祭り製作

定期的に季節に応じた製作を行った。頑張っている様子を写真に撮り各家庭にメール配信した。また、法人のホームページも活用し、事業所の取り組みを定期的に地域へ発信した。

(3) 保護者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、11月に保護者アンケートを実施した。（アンケート回収率 80%：配布 25 件/回収 20 件）全体で 88%の満足度が得られた。

(4) 車両の運行状況

(ハイエース)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	971	909	389	565	632	467	537	621	385	409	423	545	6,853	571.1
運行日数 (日)	19	18	18	20	17	19	21	21	17	17	19	21	227	18.9
平均走行 距離(km/日)	51.1	50.5	21.6	28.3	37.2	24.6	25.6	29.6	22.6	24.1	22.3	26.0		30.2

(アルト)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	190	178	211	146	88	130	148	115	141	91	141	86	1,665	138.8
運行日数 (日)	19	18	22	12	7	15	16	16	14	12	13	10	174	14.5
平均走行 距離(km/日)	10.0	9.9	9.6	12.2	12.6	8.7	9.3	7.2	10.1	7.6	10.8	8.6		9.6

(N-BOX)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	303	284	256	210	101	271	192	245	222	236	263	284	2,867	238.9
運行日数 (日)	19	20	19	19	12	19	20	17	17	17	18	21	218	18.2
平均走行 距離(km/日)	15.9	14.2	13.5	11.1	8.4	14.3	9.6	14.4	13.1	13.9	14.6	13.5		13.2

(セレナ) ステップワゴンの後継車として購入

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)											243	322	565	282.5
運行日数 (日)											12	17	29	14.5
平均走行 距離(km/日)											20.3	18.9		19.5

(A Zワゴン・リース車)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	161	210	307	292	238	207	165						1,580	225.7
運行日数 (日)	15	18	21	20	17	18	10						119	17.0
平均走行 距離(km/日)	10.7	11.7	14.6	14.6	14.0	11.5	16.5							13.3

* 令和4年度に減車したステップワゴンの代車

(セレナ・リース車)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)		425					82	256	337	353			1,453	290.6
運行日数 (日)		18					8	17	18	19			80	16.0
平均走行 距離(km/日)		23.6					10.3	15.1	18.7	18.6				18.2

* 5月につつじ学園へハイエースを貸し出したため、リース車(学園契約)をかめっこくらぶが使用した。

10月から1月は効率的な送迎サービスを実施するため、AZワゴンから車種変更を行った。

(ターセル)

令和5年9月8日付けで茅ヶ崎市へ返却(年度中の稼働は0日)

ふれあい活動ホーム赤羽根事業報告（就労移行・就労継続 B 型）

1 基本方針

（就労移行・就労継続 B 型）

障害のある方が働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行います。

（就労継続 B 型）

利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指します。

2 令和 5 年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	就労移行 1 日当たりの利用者数を4.5人とする。	達成できた 茅ヶ崎支援学校や相談支援事業所等と連携を深めた結果、見学が24人、実習が11人、利用が3人、就労アセスメント利用が6人で、1日当たりの利用者数4.8人を確保した。
(2)	就労移行 就労体験実習を 5 件以上実施する。	達成できた 体験実習を6件、就労前実習を2件実施した。体験実習での評価が高かった就労移行の利用者1名が、令和6年4月より就労した。就労前実習を行った就労継続B型の利用者2名が、令和5年5月末日より就労した。
(3)	就労継続B型 運営に最適な定員変更を行う。	達成できた 成人事業検討委員会で、ふれあい活動ホーム赤羽根における各作業室での活動スペース等を検討した結果、令和6年1月より就労継続B型の定員を23名から30名に変更した。
(4)	就労継続B型 月額平均工賃を20,500円以上とする。	達成できた 月額平均工賃は、前年度の20,435円を943円上回り21,378円となった。作業収入は前年度比407,3698円減少したが、就労などにより在籍者が減少したことで月額平均工賃は増加している。

(5)	就労継続B型 内部研修を年6回実施する。	達成できた 内部研修を6回（虐待防止、アンガーマネージメント、苦情解決、当事者の声と利用者満足度向上、障害特性の理解、外部研修報告など）実施した。他者の意見を否定しない、わからないことは質問するというルールでグループワークを行い、意見交換も活発になり心理的安全性の高い職場になってきた。
-----	-------------------------	--

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援・施設実習を含む。)

																	前年度			
																	計	臨時開所	総数	
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数			
赤羽根	移行	実在籍(契約)数	5	4	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6						
		開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	18	18	19	20	236	14	250	236	11	247
		延在籍数	100	80	132	140	126	120	126	120	108	114	114	120	1,400			1,205		
		延利用数	97	75	112	98	82	84	113	99	91	95	97	101	1,144	26	1,170	1,092	40	1,132
		分析	一日平均	4.9	3.8	5.1	4.9	4.6	4.2	5.4	5.0	5.1	5.3	5.1	5.1	4.8			4.6	
	出席率		97.0%	93.8%	84.8%	70.0%	65.1%	70.0%	89.7%	82.5%	84.3%	83.3%	85.1%	84.2%	81.7%			90.6%		
	継続B型	実在籍(契約)数	29	30	28	28	28	26	27	28	28	28	28	27						
		開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	18	18	19	20	236	22	258	236	19	255
		延在籍数	580	600	616	560	504	520	567	560	504	504	532	540	6,587			7,148		
		延利用数	518	535	515	455	380	443	499	483	421	413	422	446	5,530	242	5,772	6,362	224	6,586
分析		一日平均	25.9	26.8	23.4	22.8	21.1	22.2	23.8	24.2	23.4	22.9	22.2	22.3				27.0		
	出席率	89.3%	89.2%	83.6%	81.3%	75.4%	85.2%	88.0%	86.3%	83.5%	81.9%	79.3%	82.6%	84.0%			89.0%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、相談支援事業所等からの紹介で、24 名が見学、11 名（延べ日数 48 日）が実習を行い、3 名が利用につながった。一般就労者は 2 名、個人的な事情により 3 名が退所した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	5	7	6	5	1	1	1	26
女	2	1	1	2	0	1	0	7
計	7	8	7	7	1	2	1	33

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
就労継続B	4	3	1	0	1	0	9	0	2	10	1	13
計	4	3	1	0	1	0	9	0	2	11	6	19

	精神障害				重複				合計
	1級	2級	3級	小計	身2級	身6級	身4級	小計	
					A1	精3級	B2		
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	6
就労継続B	0	3	0	3	0	1	1	2	27
計	0	3	0	3	0	1	1	2	33

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労移行	0	1	1	0	0	0	4	6
就労継続B	1	6	2	0	1	0	17	27
計	1	7	3	0	1	0	21	33

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労移行	5	1	6
就労継続B	25	2	27
計	30	3	33

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労移行	4	2	0	6
就労継続B	20	6	1	27
計	24	8	1	33

(7) 生活支援の概要

利用者支援マニュアルを基に、利用者一人ひとりの得意・不得意、好きな事・嫌いな事などを確認し、利用者にとって働きやすい環境を提供した。作業では、利用者のできる事とやりたい事に着目し、個々の能力を引き出せるよう支援した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

区分	性別	年齢	就労日	企業名	業務内容
就労継続B型	女	31	令和5年5月31日	イオンバイク(株)	自転車販売補助
就労継続B型	男	26	令和5年5月31日	イオンバイク(株)	自転車販売補助

イ 職場実習

区分	実習者数	就労者数	企業名	業務内容
就労移行	1	-	(社福)福寿会アザリアホーム	リネン
就労継続B型	1	-	(社福)福寿会アザリアホーム	リネン
就労移行	1	-	放課後等デイサービス赤い鳥	支援員
就労移行	1	-	(株)アダストリアゼネラルサポート	店舗品出し
就労移行	2	-	ファッションセンターしまむら	店舗品出し
就労継続B型	2	2	イオンバイク(株)	自転車販売補助
計	8	2		

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	延べ回数	延べ人数
(有)サミットビルメンテナンス、茅ヶ崎市など	清掃、除草	136	428

エ 就労支援の概要

茅ヶ崎市自立支援協議会就労・生活支援部会の体験実習で3件、ハローワークのチーム支援会議からの情報提供で2件、独自開拓した茅ヶ崎市内の衣料品店で1件、と計6件の体験実習を実施することができた。積極的に施設外での体験実習を行い、社会の刺激を受けることで就労意欲に繋げることができた。支援者としては支援機関やチーム支援会議での情報共有などで連携は取れている。グループワークを継続し、ゆっくりではあるが社会性や職業準備性について理解を深め、就労意欲の向上に繋げることができた。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	印刷	弁当販売	計
令和元年度	8,691,591	3,476,371	261,200		12,429,162
令和2年度	6,294,487	3,307,066			9,601,553
令和3年度	5,948,284	3,187,023			9,135,307
令和4年度	5,634,851	3,270,806			8,905,657
令和5年度	4,752,108	3,746,180			8,498,288
令和5年度(目標)	8,000,000	4,772,000			12,772,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労移行	1,198,786	21,345
就労継続B	5,741,199	21,378
計	6,939,985	

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コバシ(株)、フジケース(株)、熊澤酒造(株)、(株)大村紙業など
清掃	(有)モザミトータルビューティー、茅ヶ崎市、つつじ学園など

エ 作業支援と工賃の概要

令和5年度の売上げは8,498,288円で、前年度比95.4%、金額にして407,369円減少した。内訳は軽作業が882,743円減少し、清掃作業が475,374円増加した。就労継続B型の月額平均工賃は21,378円で前年度比104.6%、金額にして943円増加した。作業収入は減少したが、就労等により利用者の在籍者数が減少したことで月額平均工賃は増加している。軽作業の受注量が年々減少しているため、今年度から新たにメッセージカードなどの自主製品制作を一部取り入れた。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市	1	2	
神奈川県指導講習会	神奈川県	1	1	
苦情解決研修(基礎)	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	1	1	オンライン
苦情解決研修(実践編②)	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	1	1	
BCP作成研修	神奈川県	2	2	オンライン
救命講習	茅ヶ崎市消防本部	1	1	
施設連絡会研修会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	10	
人材育成研修	ちがさき基幹相談支援センターナル	1	3	
社会福祉基礎研修	神奈川県社会福祉協議会	2	2	オンライン・対面
計		11	23	

内部研修	日数	延人数
障害者虐待防止法の理解と対応 (虐待防止検討会議)	1	10
アンガーマネジメントの理解	1	9
苦情解決研修報告会	1	9
新採用職員研修(虐待防止と身体拘束適正化推進研修)	1	2
施設連絡会研修会の振り返り、利用者満足度向上	1	8
利用者の障害特性を理解する	1	9
人材育成研修報告、社会福祉基礎研修報告、DVD「鍵をあける」振り返り	1	9
計	7	56

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会就労・生活支援部会	茅ヶ崎市	4	4
企業と就労支援機関との出会いの場	ハローワーク	1	1
チーム支援会議	ハローワーク	10	10
茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	2	2
計		17	17

内部会議	日数	延人数
個別支援計画作成会議	13	47
身体拘束廃止会議①	1	5
身体拘束廃止会議②	1	6
個別支援マニュアル作成会議	1	9
計	16	67

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数	延人数
能登半島地震介護職員等応援派遣	厚生労働省	4	4
計		4	4

(1) 防災

(2) 利用者アンケート

(3) 年間行事

(4) 車両の運行状況

(アトラス) * 令和5年8月4日付けで茅ヶ崎市へ返却

[illegible]

(ダイナ①)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	402	537	514	325	302	328	291	297	273	255	352	341	4,217	351.4
運行日数 (日)	18	20	19	19	14	13	16	16	15	16	16	20	202	16.8
平均走行 距離(km/日)	22.3	26.9	27.1	17.1	21.6	25.2	18.2	18.6	18.2	15.9	22.0	17.1		20.9

(ダイナ②) * アトラス後継車として購入

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)				211	305	250	360	348	269	272	205	363	2,583	287.0
運行日数 (日)				9	16	13	16	17	16	13	13	17	130	14.4
平均走行 距離(km/日)				23.4	19.1	19.2	22.5	20.5	16.8	20.9	15.8	21.4		19.9

(エブリイ) * 令和6年2月8日付けで茅ヶ崎市へ返却

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	229	222	212	228	143	171	169	156	177	174	42		1,923	174.8
運行日数 (日)	20	21	21	20	18	20	21	20	18	18	6		203	18.5
平均走行 距離(km/日)	11.5	10.6	10.1	11.4	7.9	8.6	8.0	7.8	9.8	9.7	7.0			9.5

(ピクシス) * エブリイ後継車として購入

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)											97	201	298	149.0
運行日数 (日)											13	20	33	16.5
平均走行 距離(km/日)											7.5	10.1		9.0

ふれあい活動ホームあかしあ事業報告（生活介護）

1 基本方針

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性に応じた支援計画を作成し、利用者が「昨日は楽しかった。今日も楽しい、明日も楽しい一日でありたい。」と思えるような支援を行う。

（１）利用者はかけがえのない人であるという認識のもと、利用者の自己実現のために利用者の思いや希望を丁寧に読み取り、笑顔で優しく支援を行う。

（２）利用者は社会の対等の構成者であるという認識のもと、利用者が地域との繋がりを深め、地域でも自分らしい生活を送れるように、利用者の地域行事への積極的参加の支援を行う。

2 令和５年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	１日当たりの利用者数を16人以上とする。	達成できた １日当たりの利用者数は15.1人であった。4/1入所者を迎え、在籍17名でスタートしたが、11月に1名が退所し、前年度の15.0人とほぼ同じ結果となった。引き続き新規利用者を獲得し、利用者数増加につなげたい。
(2)	利用者が希望する活動を誕生月に個別に行い、余暇支援を充実させる。	達成できた すべての利用者に対し、誕生月に個別活動を実施した。一人ひとりの希望に沿った個別の外出支援により、充実した余暇支援とすることができた。
(3)	障害特性を理解するため、内部研修を年３回行う。	達成できた 「虐待防止・権利擁護」「感覚統合」「わたしたちが大切にしたい基本的視点」のテーマで３回の研修を行った。虐待防止に関する基本的な事項を確認し、意識を高めることができた。また、支援者としての基本的な心構えを学ぶことができた。

3 利用者の状況

（１）利用状況

																	前年度			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
あかしあ生活介護		実在籍(契約)数	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16						
		開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	18	18	19	20	236	10	246	236	9	245
		延在籍数	340	340	374	340	306	340	357	340	288	288	304	320	3,937			4,132		
		延利用数	309	311	344	305	267	315	323	310	263	260	273	292	3,572	95	3,667	3,531	70	3,601
	分析	一日平均	15.5	15.6	15.6	15.3	14.8	15.8	15.4	15.5	14.6	14.4	14.4	14.6	15.1			15.0		
		出席率	90.9%	91.5%	92.0%	89.7%	87.3%	92.6%	90.5%	91.2%	91.3%	90.3%	89.8%	91.3%	90.7%			85.5%		

上記のほか、茅ヶ崎支援学校から 8 名、白浜養護学校から 1 名が見学し、5 名が実習（延べ日数 15 日）した。年度途中で 1 名が茅ヶ崎市内の事業所へ移行となった。

（２）年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	4	1	2	1	1	0	0	9
女	3	1	0	3	1	0	0	8
計	7	2	2	4	2	0	0	17

（３）障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	5	6	3	0	14

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	身2級 A2	小計	
0	0	0	0	1	1	2	17

（４）障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	0	1	7	6	3	0	17

（５）居住地域

市内	市外	計
15	2	17

（６）居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
11	5	1	17

* うち 2 名は自宅とグループホームを併用

（７）生活支援の概要

障害の重度化・高齢化が進み、集団での活動が難しい利用者も増えている。利用者個々のペースに配慮した小グループでの外出や、パソコンや塗り絵、シール貼りなど一人ひとりの興味・関心に合わせた個別活動を取り入れ、活動の充実を図った。

高齢化に伴う身体面の衰え等が目立ってきた利用者が複数名いるため、令和 5 年度から 3 か月に一度、理学療法士に来所してもらうこととなり、個々の利用者に合わせたリハビリ指導と助言を受けることができた。指導を受けた利用者は、日々の活動のなかでもあかしあ職員の支援のもとリハビリを行うことができた。

新たに誕生月に利用者の希望する活動を行う個別外出を実施した。グループ外出では難しい個別のニーズに合わせた活動を行うことができた。

4 事業内容

(1) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	自主製品	軽作業	計
令和元年度	1,109,906	17,691	1,127,597
令和2年度	385,690	57,320	443,010
令和3年度	541,420	43,180	584,600
令和4年度	673,965	76,703	750,668
令和5年度	620,030	42,594	662,624
令和5年度(目標)	747,000	60,000	807,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
366,700	1,834

ウ 作業支援と工賃の概要

令和5年度の売上げは662,624円で、前年度比88.3%となり、金額にして88,044円減少した。

工賃は1日出席ごとに100円支給した。機織り、木工の自主製品製作のほか、ポスティングや除草作業、雑誌付録の袋詰めなど多様な活動を提供した。ポスティングや除草作業では地域の方から声をかけていただく機会があり、交流を通してあかしあの認知度を高めることができた。

あかしあの庭で野菜や果物の栽培を行った。種植えから水やり、収穫の活動に多くの利用者が取り組むことができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
嚥下障害のある方への支援	(社福) 神奈川県総合リハビリテーション事業団	1	1	
苦情解決研修会〈第1回基礎編〉	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	1	1	オンライン
強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	(社福) 藤沢育成会	2	2	オンライン
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	(社福) 藤沢育成会	2	2	オンライン
接遇講習会(中堅職員向け)	福利厚生センター	1	1	オンライン
カスタマーハラスメント講習会	福利厚生センター	1	1	オンライン
私たちが大切にしたい 障がい者支援の基本的視点	ちがさき基幹相談支援センターナル	1	3	
ドキュメント翔 さまざまな関係の中で私を生きる	(社福) 翔の会	1	1	

感覚統合の基礎と支援理論	こども発達支援研究会	1	1	オンライン
神奈川県相談支援従事者プレ研修	NPOかながわ障がいケアマネジメント 従事者ネットワーク	2	2	
神奈川県相談支援従事者初任者研修	NPOかながわ障がいケアマネジメント 従事者ネットワーク	7	7	
障害支援区分認定調査員研修	神奈川県	1	1	
施設連絡会研修会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	7	
計		22	30	

内部研修	日数	延人数
虐待防止及び身体拘束について	2	22
障がい者支援の基本的視点	1	11
感覚統合について	1	11
計	4	44

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
ケース会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	1
ケース会議	とれいん	1	1
計		2	2

内部会議	日数	延人数
職員会議	11	113

個別支援マニュアルの作成に取り組み、各利用者の障がい特性、配慮すべき点などについて改めて整理・共有し、支援方針と支援方法の統一を図ることができた。

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
5月25日	17	7	0	24	あかしあ玄関前	火災（消火・避難訓練）
6月17日	16	8	0	24	あかしあ施設内	不審者侵入
10月13日	16	8	1	25	あかしあ玄関前	火災（消火・避難訓練）
1月24日	15	8	0	23	あかしあ玄関前	地震（避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、9月にアンケートを実施した（アンケート回収率 88.2%：配布 17 件/回収 15 件）。支援計画について 60.0%、職員の対応について 73.3%、総合的な満足度について 60.0%の満足度を得られた。いただいたご意見、ご要望については可能な範囲で対応した。一例として、送迎車に乗りたいという要望に応えるため令和6年度からの送迎体制を強化した。

(3) 保護者懇談会

実施日			
	保護者	職員	計
4月25日	10	2	12
9月28日	8	3	11

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
5/15～19	茅作連ふれあい作品展	
6/19～29	茅作連ふれあい作品展	
7/27	すいか割り	
8/7～10	夏季休業	
8/28～9/22	利用者個別面談、保護者面談	
8/31	夏祭り	
9/4～8	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会	
9/4～10/31	茅ヶ崎徳洲会病院展示	
10/6	赤い羽根共同募金街頭キャンペーン	都合により不参加
10/15	松浪地区福祉ふれあいまつり	
10/26	テラスモール散策	
11/10	茅作連交流会	
11/20～30	茅作連ふれあい作品展	
12/6	障害者週間街頭キャンペーン	
12/27	お楽しみ会・大掃除	
12/27～1/4	年末年始休業	
2/5～9	Branch販売会	
3/2	小和田公民館まつり、茅ヶ崎共生社会Fest	
3/4～22	利用者個別面談・保護者面談	
3/4～8	茅ヶ崎・寒川障害者作品展即売会	
3/25～29	茅作連ふれあい作品展	

地域行事が開催されるようになり、福祉ふれあいまつり、小和田公民館まつり、茅ヶ崎共生社会 Fest に出店した。作品販売やステージ発表を通じて地域住民との交流の機会を持つことができた。

(5) 車両の運行状況

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	965	852	927	859	709	890	894	1,011	716	731	856	848	10,258	854.8
運行日数 (日)	20	20	22	21	19	21	23	22	18	19	21	21	247	20.6
平均走行 距離(km/日)	48.3	42.6	42.1	40.9	37.3	42.4	38.9	46.0	39.8	38.5	40.8	40.4		41.5

(サンバー)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	379	366	499	529	355	410	357	284	372	341	154	99	4,145	345.4
運行日数 (日)	14	14	18	16	14	15	16	12	15	12	12	7	165	13.8
平均走行 距離(km/日)	27.1	26.1	27.7	33.1	25.4	27.3	22.3	23.7	24.8	28.4	12.8	14.1		25.1

(6) 教育実習生の受け入れ

11月から12月にかけて1名(延べ日数11日)の教育実習生を受け入れた。

ふれあい活動ホーム第2あかしあ事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援する。利用者の個性や障害特性を尊重した、心のかよいあうサービスを基本とした施設運営に努めていく。

2 令和5年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	月額平均工賃を10,000円以上とする。	達成できた 月額平均工賃は、前年度の11,147円を1,163円上回り12,310円となった。主力となるコンポーや高野商店と安定した取引ができたことが大きな要因になっている。
(2)	1日当たり利用者数を24名以上とする。	達成できた 1日当たりの利用者数は、前年度の22.9人を上回り23.6人であった。4、5、10月に1名ずつ新規契約者を獲得し、年間を通し在籍数は29人以上を確保した。 祝日と土曜日に臨時に6回開所した。利用者の居場所として延べ71人が利用した。
(3)	ご家族に利用者や事業所の様子を知らせていただき、より安心な施設利用へつなげていく。	概ね達成できた 今年度より「第2あかしあだより」を毎月発行し、作業や行事の様子を写真とともに掲載した。保護者アンケートの「以前と比べて、事業所の様子が分かりやすくなったでしょうか？」という設問に「はい」が78.9%であった。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																		前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
第2あかしあ	継続B型	実在籍(契約)数	29	30	29	29	29	29	30	30	30	30	30	29						
		開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	18	18	19	20	236	6	242	236	5	241
		延在籍数	580	600	635	580	522	580	630	600	540	540	570	580	6,957			6,385		
		延利用数	475	490	532	477	428	481	518	477	414	414	422	452	5,580	71	5,651	5,396	62	5,458
	分析	一日平均	23.8	24.5	24.2	23.9	23.8	24.1	24.7	23.9	23.0	23.0	22.2	22.6	23.6			22.9		
出席率		81.9%	81.7%	83.8%	82.2%	82.0%	82.9%	82.2%	79.5%	76.7%	76.7%	74.0%	77.9%	80.2%			84.5%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、ご本人からの問い合わせで、14名が見学、4名（延べ日数26日）が実習を行った。介護サービスへの移行や家庭の事情により2名の退所があった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	5	3	2	12	2	0	0	24
女	0	0	1	2	2	1	0	6
計	5	3	3	14	4	1	0	30

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	1	0	1	0	0	3	0	5	10	6	21

精神障害				重複					合計
1級	2級	3級	小計	身1級 B2	精2級 A2	精3級 B1	身3級 精2級	小計	
0	2	0	2	1	1	1	1	4	30

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	3	9	4	1	0	12	30

(5) 居住地域

市内	市外	計
29	1	30

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
18	9	3	30

(7) 生活支援の概要

高齢の父親との二人暮らしで、父親の死去により独居となったケースでは、生活の維持に大きな課題が発生したが、茅ヶ崎市及び相談支援事業所との連携のもと、ヘルパー、訪問看護、後見人による支援体制を作り上げ、本人の希望する生活を実現することができた。

新型コロナウイルスの5類移行後も、事業所内での集団感染を防ぐため、職員立ち合いによる朝の検温及び手指消毒、更衣室の入室人数制限、食事前後の手指及びテーブル消毒の徹底等の対策のほか、生活全般での手洗い・消毒・外出に関する助言を継続した。陽性者発生時も事業所内での感染拡大を防ぐことができた。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

区分	実習者数	就労者数	企業名	業務内容
就労継続B型	1	-	つつじ学園	皿洗い

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

就労希望者に対し、自立支援協議会就労支援部会の取り組みである「企業体験実習」への参加を促し、1名が実習を行った。企業から本人へ今後の就労に向けた助言があり、本人にとって良い経験となった。

施設外支援では、カフェドットコムを4名が訓練生として利用し、工賃向上に寄与したほか、身だしなみへの意識が高まるなどの変化があった。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	計
令和元年度	3,483,085	235,333	3,718,418
令和2年度	3,075,483	235,331	3,310,814
令和3年度	3,308,299	241,822	3,550,121
令和4年度	3,331,953	257,085	3,589,038
令和5年度	3,453,199	262,538	3,715,737
令和5年度(目標)	4,000,000	262,000	4,262,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労継続B	3,456,725	12,310

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コンポー(株)、住友電工オプティフロンティア(株)、(株)ワンワールド、熊澤酒造(株)、高野商店、やまと紙器(株)、湘南きのこ、湘南スプリング(株)、ふれあい活動ホーム赤羽根、寒川紙業、モキチベーカ&スイーツ
清掃	ふれあい活動ホーム第2あかしあ

エ 作業支援と工賃の概要

利用者一人ひとりの状態の変化に合わせて、パーテーションを増設して作業に集中しやすくするなど作業環境を整備した。杖歩行の利用者が安心して過ごせるよう、通路の確保、床のこまめな掃き掃除、利用者の密集をさける配慮をし、転倒などの事故を防ぐことができた。

令和5年度の売上は3,715,737円で、前年度比105.1%となり、金額にして126,699円増加した。主力2社の取引が安定していたことや、取引先の6割以上が前年度に比べ売り上げを伸ばすことができたことにより、平均月額工賃額も1,000円以上増やすことができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がいスキルアップ研修入門編	茅ヶ崎市	1	2	
発達障がいスキルアップ研修ステップ編	茅ヶ崎市	1	2	
発達障がい専門相談員研修 事例検討の会	茅ヶ崎市	1	1	
講演会「本人の話を聞く」	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	4	
発達障がいスキルアップ研修アセスメント編	茅ヶ崎市	1	1	
強度行動障害支援者要請研修（基礎研修）	社会福祉法人 光友会	2	1	
計		7	11	

内部研修	日数	延人数
虐待防止と身体拘束について	1	7
研修報告	4	31
計	5	38

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	1	1
光の風ネットワーク会議	光の風	1	1
ケース会議	相談支援事業所ほか	5	5
計		7	7

内部会議	日数	延人数
職員会議	11	84
個別支援計画検討会議	1	3
計	12	87

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月28日	20	6	0	26	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)
3月11日	17	5	0	22	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設利用に満足いただいているかを確認するため、9月に利用者アンケートを実施（回収率 96.2%：配布 26/回収 25）した。

作業、職員の対応、支援計画については、84%以上、感染対策については、100%の満足度を得られたが、室温の快適さやお弁当については 50%以下の満足度であった。室温については、汗が製品につかない程度に室温を下げ、着るもので調整をお願いした。お弁当については、同額でご飯の量を増やしたり、咀嚼が心配な方には食べやすい大きさに調整するなど個別に対応した。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数			
	保護者	支援者	職員	計
5月29日	7	4	2	13

(4) 年間行事

実施日	行事内容
7月	保護者（支援者）面談
7月22日	十間坂自主防災会防災訓練
9月	利用者面談
9月28日	総合防災訓練
10月14日	茅ヶ崎地区防災訓練
11月3日	日帰りレクリエーション（防災センター）
1月15日	お楽しみ新年会
2月	保護者（支援者）面談
3月	利用者面談
3月11日	総合防災訓練

(5) 車両の運行状況

(エブリイ) * 令和6年度に返却予定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	126	146	109	71	101	101	122	186	137	18	77	38	1,232	102.7
運行日数 (日)	12	15	8	10	10	11	12	12	10	3	8	4	115	9.6
平均走行 距離(km/日)	10.5	9.7	13.6	7.1	10.1	9.2	10.2	15.5	13.7	6.0	9.6	9.5		10.7

* 上記のほか1月にレンタカーによる運行があった。(73 km/6 日)

(ピクシス) * エブリイ後継車として購入

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)											2	80	82	41.0
運行日数 (日)											1	8	9	4.5
平均走行 距離(km/日)											2.0	10.0		9.1

あっとほーむ小和田事業報告（共同生活援助）

1 基本方針

利用者が地域において共同して、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。

2 令和5年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	体験利用を2名以上受け入れ、定員を満たす。	達成できた 体験利用を3名受け入れ、高田に2名入居となった。1名は1泊2日、2泊3日の宿泊サイクルを長期的に積み重ねたことで、利用者保護者ともにグループホームでの生活の不安を一つひとつ解消し、入居に繋げることができた。
(2)	内部研修を年3回実施する。	達成できた 虐待防止・権利擁護、話し手聞き手の役割、発達障害、愛着障害をテーマに内部研修を行った。「話し手聞き手の役割」では、ロールプレイングを行い、利用者とのコミュニケーションの取り方を改めて考え直す良い機会となった。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
あ っ と ほ ー む	G H	実在籍(契約)数	19	19	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19		
		開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365
		延在籍数	570	589	600	620	617	570	589	570	589	589	551	589	7,043	
		延利用数	520	536	550	550	527	525	543	534	531	527	509	508	6,360	5,803
	分析	一日平均	17.3	17.3	18.3	17.7	17.0	17.5	17.5	17.8	17.1	17.0	17.6	16.4	17.4	15.9
		出席率	91.2%	91.0%	91.7%	88.7%	85.4%	92.1%	92.2%	93.7%	90.2%	89.5%	92.4%	86.2%	90.3%	
	体験利用	実人員	2	2	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0		
		延利用数	7	7	0	0	0	2	3	5	3	0	0	0	27	29
														総計＝	6,387	5,832

3名の体験利用（延べ27日）があり、そのうち2名が高田へ入居となった。

精神障害や発達障害の利用者は、他者との接触を避けるため、自室で食事をとることが多く、世話人の声掛けを拒否する方もいた。

共同生活に抵抗のある方には、より生活のしやすい個別対応のアパートタイプのグループホームを紹介

介し見学を行ったが、不安が強く、転居にはつながらなかった。

1名が体調を崩し7月末で退居し、日中支援のあるグループホームへ転居となった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	3	0	4	0	1	0	0	8
女	8	1	2	1	1	0	0	13
計	11	1	6	1	2	0	0	21

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	0	0	0	0	0	1	1	1	7	6	15

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	精2級 B2	身2級 A1	小計	
0	2	1	3	1	1	2	21

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	9	3	7	1	0	0	21

(5) 日中活動の場

就労	法人外 事業所	法人内 事業所	求職中	計
6	7	7	1	21

(6) 生活支援の概要

部屋の片づけを苦手とする方も多くなか、定期的な居室清掃の実施やゴミ箱の設置場所の工夫により、自ら掃除機をかける様子が見られ、ゴミを部屋にため込むこともなくなった。

入浴拒否がある方には、入浴したらカレンダーにシールを貼る、入浴剤を用意するなど、入浴へのモチベーションに繋がる試みを取り入れたことにより、入浴頻度を上げることができ、生活の質を向上させることができた。

企業へ就労している利用者が、職場のストレスにより体調を崩した際は、企業へ出向き、利用者の得手不得手、物事の伝え方などを具体的に伝え、障害特性の理解を促した。

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障害専門相談員スキルアップ研修 ステップ編 その1	茅ヶ崎市	1	4	
発達障害専門相談員スキルアップ研修 ステップ編 その2	茅ヶ崎市	1	4	
愛着障害の理解と支援について	きりんカームクリニック	1	1	
かながわ共同会人権フォーラム2024 その人らしい暮らしを求めて	(福) 神奈川共同会	1	2	オンライン
障害者虐待防止法の現状と課題	神奈川福祉サービス振興会	1	1	オンライン
計		5	12	

内部研修	日数	延人数
虐待防止及び身体拘束について (虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会)	3	17
話し手・聞き手の役割	3	13
発達障害専門相談員スキルアップ研修報告会	3	15
愛着障害の理解と支援について研修報告会	3	13
計	12	58

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会 地域支援体制強化部会	茅ヶ崎市	1	1
茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	2	2
ケース会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	1
計		4	4

内部会議	日数	延人数
個別支援計画作成会議	2	6
世話人会議 (小和田)	12	68
世話人会議 (松が丘)	12	88
世話人会議 (高田)	20	81
計	46	243

5 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月9日	4	1	0	5	あっとほーむ高田	大地震・避難場所確認
9月11日	4	1	0	5	あっとほーむ小和田	大地震・避難場所確認
9月15日	5	1	0	6	あっとほーむ松が丘	大地震・避難場所確認
3月1日	4	1	0	5	あっとほーむ高田	災害時の非常食体験
3月14日	5	2	0	7	あっとほーむ小和田	災害時の非常食体験
3月21日	5	2	0	7	あっとほーむ松が丘	災害時の非常食体験

(2) 年間行事

実施日		行事内容
5月6日	土	バーベキュー（合同）
7月29日	土	流しそうめん（合同）
12月22日	金	クリスマス会（高田）
12月23日	土	クリスマス会（小和田）
12月25日	月	クリスマス会（松が丘）

参加希望者を募り、バーベキューや流しそうめんを小和田で実施した。新型コロナウイルスの感染拡大以来、久々の交流イベントとなった。

クリスマス会では、ビンゴ大会を企画したことで、普段顔を見せない利用者が参加するなど、それぞれ楽しい時間を過ごすことができた。

(3) その他

あっとほーむ松が丘に付帯するサテライト2（赤松町）について、該当利用者へのサービス提供期間終了に伴い、一人暮らしへ移行するため、令和6年2月29日をもってサテライト事業所としての登録を廃止した。

相談支援センターつみき事業報告

(茅ヶ崎市相談支援、指定障害児相談支援、指定特定相談支援、障害支援区分認定調査)

1 基本方針

障害のある児・者及び保護者等の意思を尊重し、基本的人権を享有する個人として、その尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。また、障害のある児・者の意思及び人格を尊重し、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向け、関係各機関や福祉サービス提供事業所等と連携しながら支援を行っていく。

2 令和5年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	関係各所と連携しながら、スムーズな相談支援体制の構築に努めていく。	達成できた 自立支援協議会の部会運営を通し、子育て支援センターや市立病院といったこれまであまり連携の機会が多くなかった機関との関係性を深めたことにより、スムーズな支援へと繋がった。
(2)	外部研修の積極的参加とともに、法人内有資格者を対象に、つみき業務の共有会を年2回以上開催し後継者を育成する。	達成できた オンライン研修の活用も含め、所属職員が積極的に外部研修を受講することができ資質向上に繋がった。法人内有資格者に対しての共有会を予定通り2回実施し、当該職員のつみき業務や市の相談支援状況についての理解を高めることができた。

3 事業内容

(1) 相談支援の実施状況内訳

ア 利用者の状況

相談形態	電話	来所	訪問	その他	延べ件数計
	3, 178	96	59	125	3,458

相談者	本人	家族・親戚	その他機関等	延べ件数計
	73	649	2,736	3,458

地域	茅ヶ崎	その他地域	実人数計
	265	5	270

障害種別	身体	知的	精神	発達	高次脳	その他	実人数計
	11	135	7	98	0	19	270

イ 利用実績

事業項目		延べ件数計
(1) 市町村相談支援機能強化事業		3 7 3
(2) 障害者相談支援事業		3, 0 9 7
(内 訳)	(ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）	1, 9 9 2
	(イ) 社会資源を活用するための支援	7 8 1
	(ウ) 社会生活力を高めるための支援	1 3
	(エ) ピアカウンセリング	3
	(オ) 権利の擁護のために必要な援助	5
	(カ) 専門機関の紹介	6
	(キ) 自立支援協議会の部会の運営	1 2
	(ク) 上記以外の相談	2 8 5

* (キ) の件数は、上表「利用者の状況」の件数に含まれていません。

(2) 主な相談内容と特徴

- ・相談件数は 3,458 件となり、前年度の 2,735 件から 723 件増加するとともに、過去最高件数となっている。コロナ禍前の 5 年前と比べても 1,400 件近く増えており、職員体制が大きく変わっていない中で相談件数が大幅に増えている状況にあり、相談を受け付けてから面談実施までに日数がかかってしまうなどの対応課題が生じている。
- ・新たな機関や支援者との繋がりが増えてきたことに比例して、その他機関等からの相談件数が前年度より 821 件増えている。
- ・支援度の高いケースの相談が多くあったこともあり、相談の実人数は昨年より 68 件少なかったものの、1 ケースに関する相談対応が多くあるという状況が複数あった。
- ・これまで児童の支援を多く行ってきた実績もあり、今年度の相談の対象者も児童が大半を占めている。
- ・障害種別の発達障害の中には、はっきりとした診断のない児も含まれている。
- ・放課後等デイサービスなど、児童系のサービスの利用調整に関する相談が大多数を占めている。
- ・様々な事情から家族による養育に難しさを抱えている障がい児について、母子保健担当の保健師や家庭児童相談室、市障がい福祉課より、福祉サービスの利用等について相談を受けることが複数あった。
- ・家族支援も必要なケースについては、関係機関が集まったのケース会議や電話等による連携を数多く行った。
- ・児童発達支援、放課後等デイサービスともに新しい事業所が市内や隣接市町にでき、それら事業所の利用についての相談も多く入った。
- ・児童、成人ともに短期入所利用についての相談が多く入った。利用先について、近年開設が続いた日中支援型グループホームの短期入所枠利用を検討することも多く、見学の同行を複数回行った。
- ・家族による適切な養護が行われず、市外に入所となった成人のケースに対し、入所施設への訪問や成年後見人との繋がりを持ち、継続的な支援を実施した。

(3) 障害児支援利用計画及びサービス等利用計画の作成件数

区分	障害児(18歳未満)		障害者(18歳以上)	
	利用計画	継続 利用計画	利用計画	継続 利用計画
5年度	23	27	4	8
4年度	23	25	1	11

(4) 認定調査の件数

5年度	26
4年度	39

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	4	6	
意思決定支援研修	湘南東部圏域ナビゲーションセンター	1	1	
意思決定支援研修	茅ヶ崎市	1	2	
自閉傾向にある児童への適切な支援研修	かながわ福祉サービス振興会	1	1	オンライン
発達障害支援センター支援者向け研修	神奈川県発達障害支援センター	1	1	
認定調査員研修	神奈川県	1	1	
認定調査員フォローアップ研修	厚生労働省	1	1	オンライン
メンタルヘルス講習会	福利厚生センター	1	1	オンライン
神奈川県BCP策定研修	かながわ福祉サービス振興会	1	1	オンライン
計		12	15	

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会 代表者会議	茅ヶ崎市	2	2
茅ヶ崎市自立支援協議会 運営会議	茅ヶ崎市	6	6
茅ヶ崎市自立支援協議会 未就学児相談のしくみ部会	相談支援センターつみき	3	5
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	1	1
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	6	11
湘南東部障害保健福祉圏域 自立支援協議会	湘南東部圏域 地域生活ナビゲーションセンター	1	1
湘南東部圏域意思決定支援ネットワーク 会議	湘南東部圏域 地域生活ナビゲーションセンター	3	3
基幹相談支援センタープロジェクト会議	茅ヶ崎市	4	4
地域拠点整備プロジェクト会議	茅ヶ崎市	1	1
相談支援事業実績報告会議	茅ヶ崎市	1	3
委託相談支援事業所座談会	基幹相談支援センターNalu	2	2
計		30	39

5 その他

(1) 車両の運行状況

(エブライ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	86	19	199	126	86	119	83	100	184	108	138	158	1,406	117.2
運行日数 (日)	7	1	7	9	6	10	6	8	12	8	10	12	96	8.0
平均走行 距離(km/日)	12.3	19.0	28.4	14.0	14.3	11.9	13.8	12.5	15.3	13.5	13.8	13.2		14.6

ぐっじょぶ矢畑事業報告（就労継続 B 型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

生産活動を通して、働くことの楽しさや大切さ、それぞれが協力して製品を完成させる達成感を感じていただき、生活意欲の向上へ繋がるような支援を行います。

2 令和 5 年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	1 日当たりの利用者数を15人以上とする。	達成できた 1 日当たりの利用者数は14.0人であったが、前年度の13.6人を上回った。 4月に1名、7月に1名の新規契約者を獲得し、在籍は19名となったが、長期病欠者が2名いた。 祝日臨時開所は9日実施し、利用者の居場所として延べ66人が利用した。
(2)	月額平均工賃を3,000円以上とする。	達成できた 月額平均工賃は、前年度の3,052円を353円上回り3,405円となった。 成人事業検討委員会にて作業確保の課題を共有するとともに、連携により新たな軽作業やポストティング作業の受注に繋がった。また、自主製品については、販売店からのアドバイスや職員が加工過程に工夫を凝らし、販売額の増加に繋げることができた。
(3)	軽い運動を日課とし、事業所外のレクリエーションを年2回以上実施する。	概ね達成できた 所外のレクリエーションを秋に実施した。いくつかの候補地を挙げ、利用者の希望に沿うよう数か所に分けて実施した。 運動を日課にすることはできなかったが、利用者から上がったご意見により、所内でパンケーキ作りを行い、活動を充実させることができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																		前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
ぐ つ じ よ ぶ 矢 畑	継 続 B 型 分 析	実在籍(契約)数	19	19	19	20	20	20	20	20	19	19	19	19						
		開所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	18	18	19	20	236	9	245	236	9	245
		延在籍数	380	380	418	387	360	400	420	400	342	342	361	380	4,570			4,082		
		延利用数	285	286	297	266	258	273	302	282	261	241	278	278	3,307	66	3,373	3,202	78	3,280
		分析	一日平均	14.3	14.3	13.5	13.3	14.3	13.7	14.4	14.1	14.5	13.4	14.6	13.9	14.0			13.6	
出席率	75.0%		75.3%	71.1%	68.7%	71.7%	68.3%	71.9%	70.5%	76.3%	70.5%	77.0%	73.2%	72.4%			78.4%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生など13名が見学をした。6月・10月・12月に茅ヶ崎支援学校から1名ずつ、第2あかしあからの紹介で1名の実習を受け入れた（延べ日数14日）。その内1名が8月から利用を開始した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	11	2	2	1	0	0	0	16
女	1	1	1	1	0	0	0	4
計	12	3	3	2	0	0	0	20

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労継続B	0	1	1	0	1	0	3	0	10	3	3	16

	精神障害				重複			合計
	1級	2級	3級	小計	身1級 A1	精2級 B2	小計	
就労継続B	0	1	0	1	0	0	0	20

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労継続B	0	1	5	5	2	0	7	20

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労継続B	19	1	20

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労継続B	16	4	0	20

(7) 生活支援の概要

相談支援事業所や発達支援マネージャーと連絡をとり病気で長期欠席している方や生活リズムが整わず安定して通所することが難しい利用者の状況を共有し、課題について協議した。また、保護者面談により把握したニーズに対し、相談支援機関と連携し新たなサービスとして移動支援を取り入れることができた。

その他にも水筒のパッキンの洗い方や髭剃りの練習を一緒に行うなど日常生活に関わる動作についても支援をした。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	回数	延べ人数
神奈川セルプセンター	ポスティング	13	24

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業
令和元年度	1,136,142
令和2年度	768,103
令和3年度	681,523
令和4年度	612,185
令和5年度	593,426
令和5年度(目標)	830,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労継続B	572,043	3,405

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	高野商店、ふれあい活動ホーム赤羽根、寒川紙業、アンナ

エ 作業支援と工賃の概要

売上額が伸び悩む中、売り上げ増加を図るため、ふれあい活動ホーム赤羽根からの紹介で新規の取引を始めたことや神奈川セルプセンターに登録しポスティングの受注をうけた。また、新たな取

り組みとして自主製品（クッション・キーホルダー）を作り、市内のセレクトショップで販売を開始した。

利用者の作業の幅を広げていくことを目的に治具の作成やよりわかりやすいように視覚的に工程表を用意するなど工夫した。

5 研修・会議等

（１）研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
さくら会誕生から現在に至る過程と当事者の関わり	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	4	
自閉症の強度行動障がい 事例と理解	リーン オン ミー	1	1	オンライン
形骸化させない、個別支援計画の書き方	リーン オン ミー	1	1	オンライン
ダウン症の成人期に注意すべき症状と対処法	リーン オン ミー	1	1	オンライン
意思決定支援のマインドと基本姿勢	湘南東部障害保健福祉圏地域生活ナビゲーションセンター	1	1	
障がい福祉の支援者も知っておきたいてんかん対策	リーン オン ミー	1	1	オンライン
計		6	9	

内部研修	日数	延人数
障害者虐待防止法の理解と対応 （虐待防止検討会議）	1	6
新採用職員研修	1	1
虐待防止と身体拘束適正化推進研修		
知的障害・自閉症のある方との コミュニケーションについて	1	6
支援者として必要な コミュニケーションの基礎知識	1	5
救命救急基礎知識	1	5
ダウン症の成人期に注意すべき症状 と対処法	1	5
障がい福祉の支援者も 知っておきたいてんかん対策	1	5
計	7	33

（２）会議

外部会議	主催	日数	延人数
ケア会議	元町の家	2	2
ケア会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	4	4
ケア会議	とれいん	1	1
ケア会議	ぐっじょぶ矢畑	3	3
計		10	10

内部会議	日数	延人数
個別支援計画検討会議	6	18

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	出火想定場所	想定
10月6日	13	6	0	19	隣家	地震・火災（避難訓練）
3月13日	13	5	0	18	隣家	地震、火災（消火・避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、8月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率 83.3%：配布 18 件/回収 15 件）し、支援計画の内容について平均 86.7%、職員の対応について平均 88.9%の満足度を得られた。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
9月				0	中止
3月				0	中止

*なお、希望制による個別面談を実施した。

(4) 年間行事

実施日		行事内容	備考
8月18日	金	マクドナルドランチ	
11月8日	水	レクリエーション	新江ノ島水族館
11月15日	水	レクリエーション	京急博物館
11月22日	水	レクリエーション	三岳園（ミカン狩り）
11月27日	月	レクリエーション	京急博物館
12月22日	金	お楽しみ会	
12月28日	火	牛丼ランチ	
3月6日	水	パンケーキランチ	
3月13日	水	パンケーキランチ	

新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、感染対策をしながら行事を行った。利用者の希望をなるべく取り入れ施設内の花壇に野菜や花を植えることやレクリエーションでは、ミカン狩り・京急博物館・新江ノ島水族館の中から選択してもらった。その他にも年末のお楽しみ会や昼食をマクドナルド・牛丼にするなど作業以外の楽しみを積極的に取り入れた。

(5) 車両の運行状況

(キャリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	124	83	102	150	130	114	133	222	113	141	95	180	1,587	132.3
運行日数 (日)	12	9	10	12	9	10	11	15	9	12	8	15	132	11.0
平均走行 距離(km/日)	10.3	9.2	10.2	12.5	14.4	11.4	12.1	14.8	12.6	11.8	11.9	12.0		12.0